

日本語版 Physical Appearance Perfectionism Scale の作成

— 妥当性と信頼性の検討 —

○久原璃子¹・井高野裕太²・宮崎由樹³

(1 福山大学人間文化学部, 2 東京医科大学, 3 中京大学心理学部)

日常生活で私たちは完璧を求めて物事に取り組むことがある。このように、過度に完全性を求めることを完全主義という (大谷・桜井, 1995)。完全主義はこれまで対象を特定しない全般的なものに焦点が当てられてきた。しかし、実際は特定の領域にのみ完全主義を示す人が多く、領域固有の完全主義の重要性が明らかにされている (Stoerber & Stoerber, 2009)。本研究では、領域固有の完全主義のうち、容姿について取り上げる。

容姿に対する完全主義とは自身の外見・スタイルを総括した容姿に対して完全性を求める完全主義である (Yang & Stoerber, 2012)。この完全主義は、ダイエットなどの体重管理行動、ボディイメージの不満足感など、様々な身体に関連する概念との関連が報告されている (Yang & Stoerber, 2012; Yang et al., 2017)。

容姿に対する完全主義を測定する尺度に Physical Appearance Perfectionism Scale (PAPS) がある (Yang & Stoerber, 2012)。この尺度は完全主義の不適応的側面と、適応的側面の両方を測定可能な心理尺度である。PAPS は英語版をはじめ多言語での翻訳・作成が行われているが、日本語版は未作成であった。日本語版の作成は、日本人を対象とした研究を可能にするだけでなく、容姿に対する完全主義の国際比較を可能とする。そこで、本研究では日本語版の PAPS を作成し、因子構造および妥当性、信頼性を検討することを目的とした。

方法

参加者 クラウドソーシングの登録者 545 名 (女性 313 名, 男性 218 名, その他の性 2 名, 未回答 12 名, 平均年齢 32.2 歳) を分析対象とした。

手続き 稲田 (2015) のガイドラインに沿って、尺度翻訳を行った。調査は Qualtrics を用いてオンライン上で実施した。日本語版 PAPS (Table 1) に 5 件法 (1. 全くあてはまらない; 5. 非常にあてはまる) での回答を求めた。

結果

因子構造を検討するために確認的因子分析を行った。適合度の基準値は Schermelleh-Engel & Moosbrugger (2003) を参照し, CFI > .95, GFI > .95, RMSEA < .08, SRMR < .10 とした。分析の結果, CFI = .98, GFI = .98, RMSEA = .12, SRMR = .09 であった。RMSEA を除き, 高い適合指数が確認された。RMSEA の値は基準値より高かったものの, 英語版 PAPS で .09, スペイン語版 PAPS で .10 と同等の値であったため, 許容範囲内とした (Yang & Stoerber, 2012; Rica et al., 2022)。

考察

本研究の目的は日本語版 PAPS を作成し, 因子構造および妥当性, 信頼性を検討することだった。まず, 尺度翻訳において, ガイドラインに沿って日本語版 PAPS を作成した。次に, 確認的因子分析により, 原版と同様の因子構造が再現された。なお, 紙幅の都合で省略したが, 本尺度の併存的妥当性や再検査信頼性に関しても確認済みである。したがって, 日本語版 PAPS は高い妥当性と信頼性を備えた尺度であることが明らかとなった。

今後は, 日本語版 PAPS を用いて, 全般的な完全主義と比較した容姿に対する完全主義の独自性の検討を行う。

Table 1
日本語版 PAPS の質問項目一覧

因子	番号	項目内容
第1因子	項目1	自分の容姿に満足していない。
第2因子	項目2	完璧なスタイルになりたい。
第1因子	項目3	どれだけ着飾っても(おしゃれしても)自分の容姿に満足したことはない。
第2因子	項目4	自分が魅力的に見えることを望んでいる。
第1因子	項目5	自分の容姿が良くないのではないかと心配になる。
第2因子	項目6	他の人に自分の容姿を褒(ほ)めてもらいたい。
第2因子	項目7	自分の容姿が他の人から見て, 魅力的でありたい。
第1因子	項目8	自分の容姿をガラッと(180度)変えることができれば良かったのにとと思う。
第1因子	項目9	自分の容姿は望んでいるものとはほど遠い。
第1因子	項目10	自分の容姿に対する他の人の評価が心配になる。
第1因子	項目11	自分の容姿の欠点についてよく考えてしまう。
第2因子	項目12	もっとかっこよく美しくなりたい。

Note. 第1因子 不完全さへの懸念 項目 1.3.5.8.9.10.11 第2因子 完全さへの願望 項目 2.4.6.7.12